

関数	引数	戻り値	説明	使用例
NOW()	--	タイムスタンプ型	現在時刻を返す。	NOW() -> 2015/2/19 09:15:30
NOW(a)	a:テキスト型	テキスト型	指定フォーマットに整形済みの文字列を返す。	NOW('yyyy') -> 2022 NOW('yyyy年MM月') -> 2022年04月 NOW('yyyy年MM月dd日') -> 2022年04月14日 NOW('yyyy年MM月dd日 hh時mm分ss秒') -> 2022年04月14日 09時15分30秒
ADD(a,b)	数値・金額型	数値・金額型	aとbを加算した値を返す。	ADD(\$利用数,3) -> 15 \$利用数=12とする
ADD(a,b,c,...)			aとbとcと...を加算した値を返す。	ADD(4,2) -> 6 ADD(60,5,4,3) -> 72
SUB(a,b)	数値・金額型	数値・金額型	aからbを減算した値を返す。	SUB(\$利用数,3) -> 9 \$利用数=12とする
SUB(a,b,c,...)			aからb,c,...を減算した値を返す。	SUB(4,2) -> 2 SUB(60,5,4,3) -> 42
MULT(a,b)	数値・金額型	数値・金額型	aにbを乗算した値を返す。	MULT(\$利用数,3) -> 36 \$利用数=12とする
MULT(a,b,c,...)			aにb,c,...を乗算した値を返す。	MULT(4,2) -> 8 MULT(60,5,4,3) -> 3,600
DIV(a,b)	数値・金額型	数値・金額型	aをbで除算した値を返す。	DIV(\$利用数,3) -> 4 \$利用数=12とする
DIV(a,b,c,...)			aをb,c,...で除算した値を返す。	DIV(4,2) -> 2 DIV(60,5,4,3) -> 1
MOD(a,b)	数値・金額型	数値・金額型	aをbで除算した際の余りを返す。	MOD(234, 10) -> 4
ROUND(a,b)	数値・金額型	数値・金額型	aに対して、bで指定された小数点桁を四捨五入した値を返す。 b=2と指定した場合は、小数点以下2桁目を四捨五入する。 整数桁での四捨五入を行う場合はbに負数を指定する。	ROUND(1.1874, 2) -> 1.2 ROUND(50, -1) -> 100
ROUNDUP(a,b)	数値・金額型	数値・金額型	aに対して、bで指定された小数点桁を切り上げた値を返す。 b=2と指定した場合は、小数点以下2桁目を切り上げる。 整数桁での切り上げを行う場合はbに負数を指定する。	ROUNDUP(1.1374, 2) -> 1.2 ROUNDUP(40, -1) -> 100
ROUNDDOWN(a,b)	数値・金額型	数値・金額型	aに対して、bで指定された小数点桁を切り捨てた値を返す。 b=2と指定した場合は、小数点以下2桁目を切り捨てる。 整数桁での切り捨てを行う場合はbに負数を指定する。	ROUNDDOWN(1.1874, 2) -> 1.1 ROUNDDOWN(50, -1) -> 0
ADDDATE(a,b,c,d)	a:タイムスタンプ型 b,c,d:数値・金額型	タイムスタンプ型	aの日付時刻に対して、b年c月d日を加算した値を返す。 加算は年、月、日の順に行う。減算の場合は各項目に負数を指定する。	NOW()=2020/9/15とする 3ヶ月後の1日前: ADDDATE(NOW(),0,3,-1) -> 2020/12/14
ADDTIME(a,b,c,d,e,f,g)	a:タイムスタンプ型 b,c,d,e,f,g:数値・金額型	タイムスタンプ型	aの日付時刻に対して、b年c月d日e時f分g秒を加算した値を返す。 加算は年、月、日、時、分、秒の順に行う。減算の場合は各項目に負数を指定する。	NOW()=2020/9/15 05:00:00とする 3時間前: ADDTIME(NOW(),0,0,0,3,0,0) -> 2020/09/15 08:00:00
CONCAT(a,b)	テキスト型	テキスト型	aとbの文字列を結合した値を返す。	CONCAT('Conv', 'BASE', 'EE') -> 'ConvBASEEE'
CONCAT(a,b,c,...)			aとb,c,...の文字列を結合した値を返す。	
DATEDIF(a,b)	a:タイムスタンプ型 b:タイムスタンプ型	数値・金額型	aの日付時刻からbの日付時刻を引いた日数を返す。 なお、引数にはNOW()を指定することも可能。	「実施日」からの経過日数: DATEDIF(NOW(),\$実施日) 詳細は、こちら
ENDOFMONTH(a)	a:タイムスタンプ型	タイムスタンプ型	aの日付から月末の日付を返す。	「現在日時」の月末の日付を返す: ENDOFMONTH(\$NOW()) : 2015-02-28 09:15:30.2 詳細は、こちら
ME([a])	-- a:テキスト型	テキスト型	ログイン中のメンバーの氏名を返す。 ログイン中のメンバーの他(項目a)の情報を返す。	詳細は、こちら
LOOKUP(a,b,c,d,e)	a:任意のビュー名 b:任意のビューのキー項目名 c:任意のビューの取得項目名 d:自ビューのキー項目名 e:任意の値	bとdが一致したときはc、不一致のときはe	自ビューのdの値に対して任意のビュー-aのbの値が一致した場合、cを返す。一致がない場合、eを返す。	詳細は、こちら
LEFT(a,b)	a:任意の型 b:任意の桁数	aの型に準ずる	aの値からbの桁数の値を取り出して返す。	詳細は、こちら
EQUAL(a,b,c,d)	a,b:同じ型	c:a,bが一致したときの値 d:a,bが不一致のときの値	aとbの値が一致した場合はcを返す。一致しない場合、dを返す。	詳細は、こちら
REPLACE(a, b, c)	a:テキスト型 b:テキスト型 c:テキスト型	テキスト型	aの値のうち、部分文字列 bを cに置換する。	REPLACE('abcde', 'cd', 'CD')->'abCDe'
SPLIT(a,b,c)	a:テキスト型 b:テキスト型 c:数値	テキスト型	aの値のうち、bで分割したものの、c番目(1-origin)の値を取る。	SPLIT('PMOビル-9F-執務エリア', '-', 1) -> 'PMOビル'
TRIM(a)	a:テキスト型	テキスト型	aの前後に存在するスペースを除去する。	Trim(' abc ')->'abc'
CBTAG(a)	a:テキスト型	テキスト型	aで指定された管理番号をRFIDタグに書き込む形式にエンコードする。	「管理番号: 00000001をエンコードする」: CBTAG(\$管理番号) -> C0BA00000001FFFFFFF